

県民の皆さんへ

「平成 28 年版 成果レポート～成果の検証と改善に向けた取組～」を公表します。

平成 28 年は三重県が誕生して 140 年目にあたります。その節目の年に、「幸福実感日本一」の三重をめざし、「新しい豊かさ」を享受できる三重づくりを進めるための「みえ県民カビジョン・第二次行動計画」をスタートさせます。

この平成 28 年版 成果レポートは、第一次行動計画の 4 年間の振り返りや平成 27 年度の実績成果の検証を行うとともに、第二次行動計画に基づく平成 28 年度の実績成果の方向とめざす目標値を、県民の皆さんにご報告し、今後の県政運営に対するご意見やご提案をいただくことを目的に作成しました。

さて、本年 5 月 26 日、27 日には伊勢志摩サミットが開催され、三重県に新たな歴史が刻まれました。

サミットが安全かつ成功裏に開催され、多くの成果につなげることができたのも、「オール三重」で一丸となって取り組んだ結果であり、県民の皆さんをはじめ、サミットに関わった全ての方に深く感謝申し上げます。

サミットの開催という千載一遇のチャンスを一過性のものとせず、サミットのレガシー（資産）を次世代に継承し、三重県が将来にわたり持続的に発展していくことができるよう、「ポストサミット」にしっかりと取り組んでまいります。

今年度の県政推進の基本方針を定めた「平成 28 年度三重県経営方針」では、注力する取組として、「伊勢志摩サミット～サミットの成功とレガシーの未来への継承～」に加え、「教育・人づくり～一人ひとりの輝く未来と希望に満ちた社会の創造～」、「地方創生の本格展開～希望がかない、選ばれる三重へ向けて～」、「安全・安心の確保～『協創』の取組のベースとなる命と暮らしを守る～」を掲げ、県民の皆さんや市町等と連携しながら、県をあげて取組を進めているところです。

三重県経営方針に掲げた平成 28 年度に注力する取組や、第二次行動計画にお示しした取組をはじめ、県政の諸課題にしっかりと取り組み、県民の皆さんに成果を届けていきたいと考えていますので、どうぞ忌憚のないご意見をいただくとともに、今後の県政運営に対する一層のご理解とご協力をお願いいたします。

平成 28 年 7 月

三重県知事 鈴木 英敬